



ビュッフェとワインを楽しみながら会話を弾ませる参加者

11月16日

男女の出会いの場を提供 白糠グルメと恋する夕べ

白糠の食の魅力と男女の出会いの場を提供する「白糠グルメと恋する夕べ」がファームレストラン「クオーレ」で開かれました。本年度2回目の開催。

この日は、町内の男性9人と釧路市や帯広市などから女性9人が参加。羊やチーズ、地元野菜などを使った豪華ビュッフェやワインを楽しみながら交流を深めていました。今回は3組のカップルが成立しました。

11月13日

歩いて健康、稼いでポイント ウォーキングの日

町は本年度から始めた「しらぬか健康ウォーキング事業」を推進するため、月に2回（白糠1回、庶路・西庶路1回）を「ウォーキングの日」と定めています。

この日は、白糠地域の「ウォーキングの日」。町民5人が参加し、総合体育館を発着としている2.5kmのコースを歩きました。大塚博則さんは「この事業のおかげで、歩くことが日課になった」と話していました。



秋晴れの天気の中、ウォーキングでリフレッシュする参加者



「釧路支社の募金率は高く、地元愛を実感する」と樋口所長（左）

11月11日

寄付ありがとうございます 「明治安田生命」寄付贈呈式

本町と「健康増進に係る連携協定」を締結している明治安田生命保険相互会社から40万7,500円の寄付がありました。この日は、同社釧路支社春採営業所の樋口主馬営業所長が役場を訪れ、棚野孝夫町長に目録を手渡しました。寄付は、同社が2019年から行っている「私の地元応援募金」によるもので、本町への寄付は今回で5回目。合計額は129万3,000円となりました。



1 情操教育指導者の福田美佳さん(右)と山田陽子さん(左)がオペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」を披露。2 白糠手話の会は「サライ」と「サザエさん」の2曲を手話で表現。3 白糠手話の会にサプライズで登場した庶路こども園の園児たちは「世界がひとつになるまで」を大きな声で歌いました。

11月16日

華麗な演奏で魅了 青少年音楽祭

青少年音楽祭が社会福祉センターで開催され、来場した約200人が華麗な演奏を楽しみました。

音楽祭には庶路学園音楽部や白糠学園ブラスアンサンブル同好会など全9組が出演。しらぬか手話の会の発表では、庶路こども園の園児がサプライズで登場し、歌いながら手話を披露しました。最後は童謡「ふるさと」を来場者全員で合唱し、和やかに幕を閉じました。



目録を手渡し相澤副支部長（右）

11月13日

子どもたちの安全を守る こども手帳贈呈式

日本公衆電話会北海道統括支部は、町内の小学4年生に交通ルールや犯罪、災害から身を守る方法などが書かれた「こども手帳」44冊とDVD3枚を寄贈しました。

この日、役場で贈呈式が行われ、同支部の相澤長和副支部長が川島眞澄教育長に目録を手渡しました。

相澤副支部長は「ホームページには電子版もあるので、ぜひ皆さんにも見てほしい」と話していました。

11月10日

熟練の技が光る舞台 総合文化祭「芸能発表会」

総合文化祭「芸能発表会」が社会福祉センターで開催され、出演者が日頃の練習の成果を披露しました。

発表会は、藤間流真三代会の舞踊に始まり、白糠吟詠会の詩吟や白糠大正琴サークルの大正琴など5団体が出演しました。

会場に訪れた約80人の観客は、熟練者たちが魅せる舞踊や演奏などに大きな拍手を送っていました。



「翼をください」など3曲を披露した大正琴サークル

11月11日～

編んで結んで暮らしを彩る クラフトバンド講座

町教育委員会主催の「クラフトバンド講座」が公民館で開催され、7人の参加者がクラフトバンド（紙バンド）で花結びの丸かごを作成しました。

講師は、多くのクラフトバンド作品を手掛けている齊藤春美さん。参加者は計5回の講座で大小2種類のかごを完成させました。講座に参加した五十嵐君子さんは「完成品を飾るのが楽しみです」と話していました。



「一定の力で編むときれいに仕上がる」と話す齊藤さん（右）